共催（ランチョン）セミナー 11

LS11）　ノーベル医学生理学賞受賞者リュック・モンタニエ博士が薦める FPP（パパイヤ発酵食品）のメディカルフードとしての研究報告

Research-Based Medical Food, FPP (Fermented Papaya Preparation), recommended by Prof. Luc Montagnier (2008 Nobel Prize Winner in Physiology or Medicine)

大里研究所　副所長
Osato Research Institute, Vice-Director
奥田　祥子
OKUDA Sachiko

大里研究所（Osato Research Institute，略称 ORI）は，予防医学を柱とし，年を重ねても誰もが健康で元気に働ける社会の実現，高齢化社会において益々高騰する医療費の削減を目指し，アメリカやヨーロッパなど世界のさまざまな大学や研究機関と共同で FPP（Fermented Papaya Preparation：パパイヤ発酵食品）の研究を行っている．

FPP は抗酸化作用，免疫調整機能，抗炎症作用をもつ食品として数多くの臨床研究が報告されており，HIV の発見により 2008 年ノーベル医学生理学賞を受賞したリュック・モンタニエ博士も FPP 開発当初から研究に携わっている．モンタニエ博士は，FPP の免疫調整効果に着目し研究を進める一方，自らも健康維持のために愛用し，抗酸化作用をもつ食品として感染症の予防に FPP を薦めている．さらに，モンタニエ博士は 2002 年に当時パーキンソン病を患っていたローマ教皇ヨハネ・パウロ 2 世の健康回復のために FPP を薦め，イタリア，フランスを始め多くの国で話題となった．2012 年には教皇ベネディクト 16 世に謁見しバチカンとのプロジェクトを開始，今年 2015 年 2 月の世界病者の日には ORI 理事長 林がバチカンに夫妻で招待され現教皇フランシスコと予防医学について語るなど，FPP は 3 代のローマ教皇へいずれも直接手渡されている．

また，ORI は Aston Martin Racing のオフィシャルパートナーとして長年にわたりドライバーおよびチームの健康管理をサポートしている．極限状態で長時間ストレスにさらされるレーシングドライバーにとって酸化ストレスによるダメージから素早く回復し常に集中力を保つことは何より重要である．ドライバー自らが実感している疲労回復に対する FPP の効果は臨床研究でも示されており，酸化ストレスとスポーツの観点から注目されている．

糖尿病分野，脳神経疾患分野，放射線科学分野などにおける FPP の臨床研究の成果はめざましく，近年オハイオ州立大学で行われている 2 型糖尿病患者の一連の研究では FPP がミトコンドリアのエネルギー産生を高めることが証明されるなど FPP の機能性が顕著に示唆されている．口腔内における FPP の効果についても注目すべき論文や報告が発表されている．本講演では，FPP の臨床研究の成果を紹介し，メディカルフードとしての可能性を探る．

略歴

1964 年 3 月	お茶の水女子大学理学部化学科　卒業
1964－1968 年	東京工業大学技官，オハイオ州立大学研究員
1970 年 10 月	米国カリフォルニア大学サンディエゴ校大学院理学部化学科修士課程修了
1973 年 3 月	英国サザンプトン大学理学部化学科博士課程修了 PhD 分子科学，光化学，大気環境化学専攻
1981－2006 年	エフシージー総合研究所（フジテレビ商品研究所）化学研究室，美容科学研究室，食品科学研究室各室長を経て， 常務取締役暮らしの科学部長　暮らしの科学全般，人間工学，商品品質管理研究
2006 年～	大里研究所副所長　食品科学，予防医学

現在に至る